

アレルギー外来

アレルギー外来では、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎・結膜炎、花粉症などの診療を行っています。アレルギーかな？と思われる症状がありましたらお気軽にご相談ください。

（１）食物アレルギー

食物アレルギーは、特定の食べ物を口にしたときに、免疫反応によって症状が出るもので、乳児の 5-10%、幼児の 5%程度にみられると言われています。疑わしい症状がある場合は、症状の経過を丁寧に伺い、必要に応じて皮膚テストや血液検査を行います。ただし、検査が陽性でも食べられないとは限りません。食事をどのように進めていくか、今後症状が出たときにどうするかなど、担当医師とよくご相談ください。

（２）アトピー性皮膚炎

赤ちゃんの皮膚は大人より薄く、皮脂の分泌が少ないために刺激に弱く、湿疹がしやすい状態にあります。「アトピー性皮膚炎ではないか」と心配されるご家族もよくみかけます。アトピー性皮膚炎はかゆみや特徴的な湿疹の分布、慢性反復性の経過などにより診断されますが、湿疹もアトピー性皮膚炎も、しっかりしたスキンケアや適切な治療を行えば良くなります。最近では小児に使用できる薬の種類も格段に増えていますので、お気軽にご相談ください。

（３）気管支喘息

アレルギー反応によって、発作性に気道が細くなり、呼吸困難を繰り返す病気です。小さいうちは風邪による症状と本物の喘息の症状との区別がつきにくく、診断が難しいと言われています。発作時の治療、発作のない時期の予防治療などを、診療ガイドラインに沿ってご説明し、日常生活に支障がないように患者さんに合わせた治療を行います。

（４）アレルギー性鼻炎・結膜炎、花粉症

近年、アレルギー性鼻炎や花粉症の子どもが増えています。当院では抗アレルギー内服薬、点眼薬、点鼻薬などを、症状に応じて処方致します。また、必要に応じてアレルゲン検査をおこない、環境整備についてアドバイスするとともに、減感作療法（舌下免疫療法）を含む治療法について丁寧にご説明致します。

<各種アレルギー検査>

お子様には検査をすることによる負担が生じます。検査が必要かどうかは担当医とよくご

相談ください。

・**皮膚テスト** 皮膚に小さな傷をつけて、食物、ダニ、花粉などのアレルゲンエキスを垂らし、変化が生じるかを調べます。15分くらいで判定できます。

・**血液検査** 各種アレルゲンに対する抗体があるかどうかを調べる検査です。数値によって症状出現の予測がある程度はできますが、診断を確定するものではありません。外注検査になりますので、結果は1週間後になります。

・**食物経口負荷試験** 原因として疑わしい食物を実際に食べて、症状出現の有無を確認する検査です。強い反応が出る可能性が考えられる場合には、愛育病院と連携し、病院で入院の体制をとって検査を行います。

<その他>

・**アレルギー生活管理指導表** 当院におかかりの方で、保育所や学校に提出が必要な場合はいつでも記入致しますのでお申し出下さい。